



地域女性の働き方サミット in 会津 「地域女性の働き方の未来」

(一社)東京ニュービジネス協議会
女性活躍推進委員会委員長
柳川 舞

東京NBC女性活躍推進委員会活動 2018

下記の3つをテーマに活動を展開しています！

Global

Innovation

Diversity



4th International women's entrepreneurs Forum (2018/11/5)

東京NBC女性活躍推進委員会活動 2018

ビジネスの「美しさ」価値追求

11月5日
International
Women's Forum

11月19日
下村塾
(経営塾)

地域の女性をつなぐ

9月
地域女性の働き方
サミット in 会津

ビジネスの「豊かさ」価値追求 浪江町を花の町へ再生！

4月16日
浪江町下見

5月24日
浪江町下見説
明会@NBC

6月下旬
NBC
浪江町視察

7月14-15日
浪江町
パエリア
パーティー

2019年3月 世界女性デー

Celebration for Women

女性であることを
祝う!!!

経済界、スポーツ、
アート、政治、NPOなど
多分野で活躍する女性
達の活動報告と表彰 &
ネットワーキング @
オーストラリア大使館



地域女性の働き方サミットプログラム

主催：（一社）東京ニュービジネス協議会 女性活躍推進委員会

共済：特定非営利活動法人 ウィメンズアイ

後援：公益社団法人日本ニュービジネス協議会連合会

内閣府男女共同参画局

参加者：20代～70代の各地で働く女性39名（フランスも含む）

（フィールドワーク参加者17名）

行程：

9月28日～29日 福島県会津若松市、喜多方市でフィールドワーク

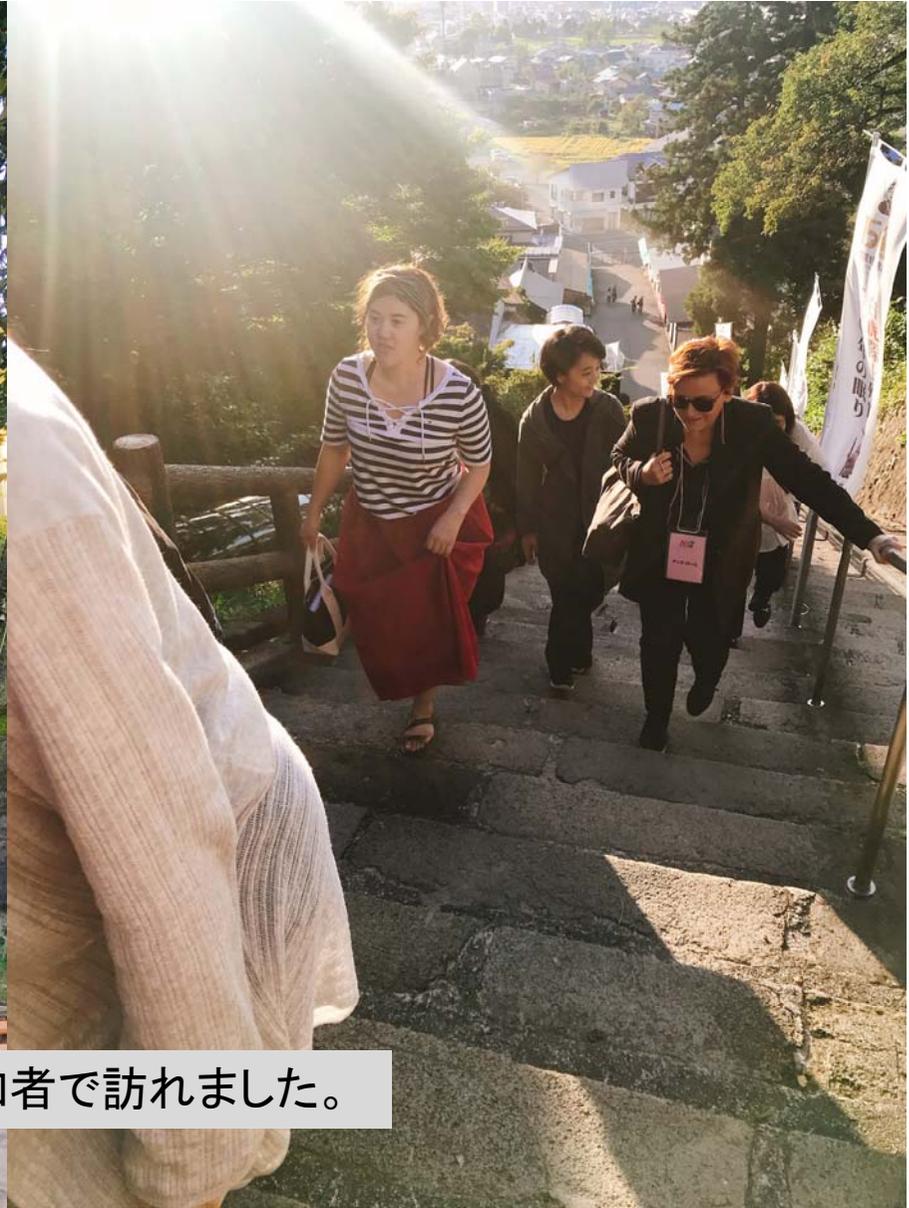
9月30日 地域女性の働き方サミット（会津若松市）

プログラムの目的

- ◆ 都市部だけでなく地域で働く女性の課題を現地で体感する
- ◆ 地域の課題解決に資するビジネスを営んでいる女性経営者を視察する
- ◆ 地方創生における女性活躍推進を考える
- ◆ 各地で働く女性の人的ネットワークを構築する



女性参加者が「働き方」のヒントを持ち帰り
自分たちの多様な働き方をよりアクティブにしていく



飯盛山・会津さざえ堂(重要文化財)も参加者で訪れました。

会津名物わっぱ飯(わっぱ飯「田季野」にて、戊辰戦争についての紙芝居を鑑賞)



新宮熊野神社(長床)国指定重要文化財にて奉納舞:Baliasi & Accovio
戊申150年にあたり、平和への祈りを込めて舞を奉納。地元の方と一緒に鑑賞しました。





1日目の夜。宿泊をした熱塩温泉「ホテルふじや」の若女将安田志穂さんに、Uターンで、デザイナーから転身し野菜の自家栽培にも取り組む温泉経営や、地域での暮らしについて伺いました。



100年の歴史を誇る古民家「喜多方 志ぐれ亭」にて、
磐梯町町会議員/ばんだいファーム 代表社員 古川綾さんに、Uターンをし、
農業組合法人を設立した経験、そして、町制施行後初の女性町会議員として
今、経験されていることや今後のビジョンをお話頂きました。



喜多方「食堂つきとおひさま」カフェオーナーの五十嵐加奈子さんに、
Uターンの経緯、カフェを起業してから、これまでのご経験を五十嵐さんのカ
フェ「食堂つきとおひさま」でお聴きしました。





喜多方市在住、海外居住を経て、Uターン、実家の(有)すとう農産で企画営業に携わる須藤Bond亜紀さん、リチャードさんご夫妻にお話を伺いました。喜多方「食堂つきとおひさま」カフェオーナーの五十嵐加奈子さんにもお越し頂き、東京や、他地域から来た女性たちとのネットワークだけでなく、意外とつながっていない、地元で活躍する方々の横のつながりもできたように思います。



3日目、地元の参加者も加わっての「女性の働き方の未来」サミットでは、オープニングに、初日に食べたわっぱめしを、JRの高級リゾート列車「四季島」に導入をさせて田季野 女将 馬場 由紀子様にお話頂きました。お土産に、参加者全員に地元の「起上り小法師」を下さいました。

サミット参加者の声



- ◆ わっぱ飯屋のおかみさんのシンプルでブレない強さと女性らしい包括的な姿とスピーチ。何も新しいことをやらなくても今ある環境の中で昔からあるものを進化させて精一杯できることに向き合う姿勢に洗礼された女性の働き方が見えた。
- ◆ 女性の力強さと美しさ。都市だけでなく、地域でも活躍している女性はたくさんいて、みなさんとても輝いていて素敵だと思いました！ツアーやサミットに参加していた世代がバラバラだったにも関わらず、すぐに溶け込んで仲良くなっていくのも、女性特有な感じがして本当に楽しく過ごせました。

Glocal な女性の活躍

フランス(トゥール)でのアートの町おこし

ゲストスピーカー: アンヌ=ロール(キュレーター)



アンヌ=ロール(アートを使った地域おこし)
フランス(トゥール)



アンヌ＝ロール(アートを使った地域おこし)
参加者の声



- ◆ アートを通じた地域活性はフランスならではの面白かった。アンヌさんの言うように自国を知らない日本人が多いので何が大切で貴重で美しいのかを理解してもらう活動を外の人ではなく日本人向けに出来たらいいなあ、と感じた。外を通して見える日本はやっぱり新鮮です。
- ◆ アートという切り口で、かつ日本ではない場所での活動のお話は、非常に学びの多いものになりました。まだまだ日本ではまちとアートを掛け合わせた事例はそこまで数が多いとも思っただので、アンヌさんのお話がとても貴重なものだと感じました。
- ◆ アートという切り口からの地域活性化の方法というのは新しい視点でした。興味深く聞くことができました。



グループワークでは、他県からの参加者からフィールドワークでの気づきが、地元の女性たちに共有されることによって、お互いに自分たちが持っている資源やネットワークに気付く瞬間が沢山見られました。

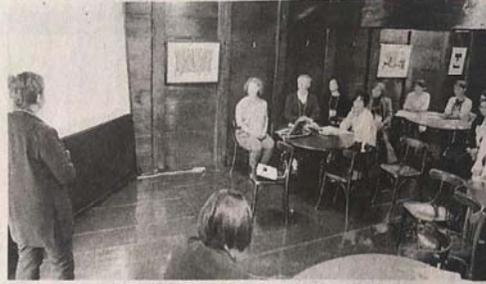
サミット参加者の声



- ◆ 首都圏の女性たちにも生き方モデルとして知らせる機会があるのではないかと
思った。地域に関係なくアピールする試みだと思う。
- ◆ 勤めている会社でもこのような女性の働き方のセミナーは開催されていますが、年
齢、職業、肩書き、居住地、働き方などが異なるメンバーで集まるからこそおもしろ
いんだと思いました。



会場となった会津若松市 築100年の蔵「福西本店」にて
の集合写真



女性の働き方模索

地域サミットで意見交換 喜多

地方での女性の働き方を考える出席者—9月30日

地方での女性の働き方を考える「地域女性サミット」が九月二十八日から三日にかけて、会津若松市などで開かれた。経営者ら

で組織する東京ニュービジネス協議会(東京とNPO法人ウィメンズアイ(宮城県南三陸町)の主催。地方在住の女性が活躍の場を創出している事例を視察し、働き方の未来を模索しようと初めて催した。東京、山口、東北各県などから約二十人が参加した。

二十八、二十九の両日は、喜多方市でホテルの若おかみや古里の会津で就農した女性らの話を聞いた。最終日

国際ロータリーで国際交流 大玉地区受け入れ



交流を深めた青少年交換留学生ら

の三十日は会津の女性からも交え会津若松市の福西本店で繰り広げられた。フランスの地方都市でアートプロジェクトを創設した同国の美術史学者・キュレータらの話を聞き、参加者同士で意見を交わした。

2018年10月2日(火)
福島民報 に掲載

地域で働く女性サミットのアウトプット

今ない新しいものを創り出すのではなく、今あるものをうまく使って新しい価値を創り出す女性ならではの感性や柔軟性を発見した。

地域に戻ってきた女性達や、都会から地域に人を送る女性達など、人や活動が繋がっていくことで発展することへの大きな可能性の塊を感じた。



都会で働く女性に対する企業内の制度や環境整備の課題とは別に
地域で働く女性達や活動をつなげていくことで、本来女性が強みとして持つ
多様性や柔軟性がグローバルに地域ビジネスの領域で発揮できる可能性を
発見